

平成29年度英語科海外ホームステイ研修報告 7月28日（金）

本日のオーストラリアは、日中の暑さも和らぎ過ごしやすい一日となりました。今日は楽しみにしていた終日ゴールドコースト見学研修の日ということもあって、いつも以上に元気な登校風景となりました。生徒たちから、「先週の今日、日本を出発して来たのに、もう一週間経ってしまった。」と、時の流れの速さを実感する声が多く聞こえてきました。それだけ、一人一人がこの研修で充実した日々を送っているという証拠です。この後、さらに研修の経過スピードは増していきます。一分一秒も無駄にせず、できることはすべてやり、後悔のない研修を作り上げて欲しいところです。

専用バスでホストスクールから約40分、最初の目的地「サーファーズ・パラダイス」へ到着しました。真っ白な砂浜とどこまでも続く透明度の高い青い海に、生徒たちのテンションも一気に高まります。キラキラと光り輝く柔らかな砂のビーチの感触に、「猪苗代湖と全然違う！」という発言も飛び出しました。ここ「サーファーズ・パラダイス」は世界有数のリゾート地であり、ゴールドコーストの数あるビーチの中でも最も人気のあるメインビーチです。名前のとおり、サーフィンなどのマリンスポーツを楽しむ他に、砂浜にただ寝そべて日光浴をする人々など、まさに「楽園」と呼ぶのに相応しい美しいビーチに生徒たちも魅了された様子でした。

ここで集合時間まで必ず戻ることを約束し、約1時間のフリータイムを取ることにしました。ビーチでアクティビティをするグループ、ショッピングに出かけるグループと、それぞれが思い思いの時間を過ごしました。すっかり異国の地に慣れ、買い物などを堂々とこなす生徒の姿はとても頼もしく感じました。そして、楽しい時間はあっという間に過ぎ去り、集合時間の数分前からリフレッシュした表情の生徒が続々と戻ってきました。しかし、残念ながら数名が集合時間になっても戻って来ず、数分過ぎたころ、息を切らしながら到着しました。たった数分の遅刻ですが、他の人の貴重な時間を奪ってしまったこと、社会に出た際に時間を守れないことは信頼関係に影を落とす原因になることから、時間厳守の徹底を再度伝えました。この研修を通して、今取り組んでいる全てのことが将来へ繋がっていると考えながら行動して欲しいと思います。





その後、専用バスで30分程移動し、Currumbin Wildlife Sanctuary（カランビン動物保護区）に到着しました。ここは1,400種類以上の生物を飼育している、オーストラリア国内最大級の動物園です。しかし、ただの動物園ではなく、怪我などで傷ついた野生動物を無料で治療し、リハビリを行い野生に返す取り組みや、できるだけ自然に近い形で動物を保護する活動を行っています。

ランチ後、生徒たちはコアラと一緒に記念撮影を行ったり、カンガルーや鳥類のフリーフライトボードショーの鑑賞をしたりするなど、オーストラリア固有の動物との触れ合いを楽しみました。特にコアラは天候の変化や感染症によって生息数が減少したことにより、厳しい接触規制があり、州によっては触れ合いが禁止されているところもあるので、生徒たちにとってとても貴重な経験になったと思います。

いよいよ、最後の週末を迎えることになりました。帰りのバスの中で再度ファミリーとの時間を大切にして楽しむことや、自分の気持ちを行動に起こすことの重要性を伝えました。この一週間で、生徒とファミリーは一步一步関係を深めてきました。アクションを自ら起こすことで、その絆をさらに強める週末にして欲しいと思います。